

# 「第6次忠岡町総合計画」策定のためのまちづくりに関する アンケート調査結果報告《概要版》

## I 調査概要

### 1. 調査の目的

令和8年度を始期とする「第6次忠岡町総合計画基本計画改訂版」の策定に際し、まちづくりに関する町民の意向を把握することを目的に調査を実施しました。

### 2. 実施概要

調査名	対 象	実施時期	調査方法	回収数
忠岡町のまちづくりに関するアンケート調査	18歳以上の町民 3,000人	令和7年6月	郵送法（郵送による配布・回収）及びWebアンケート	回収数：953票 回収率：31.8%

### 3. 調査結果の見方

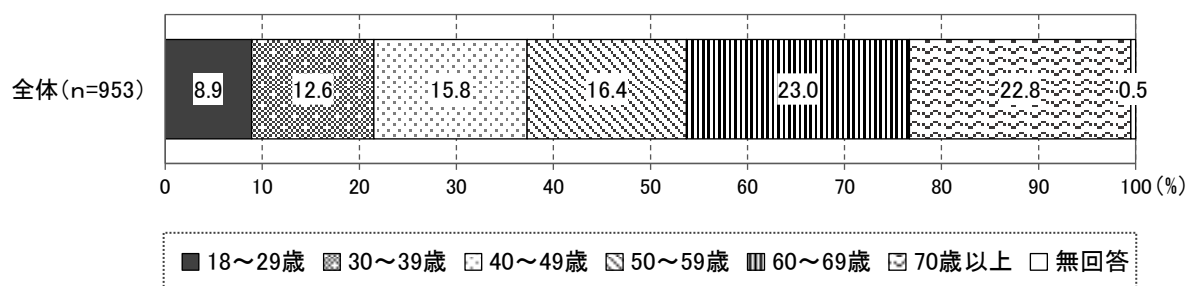
- ・比率は全て百分率（％）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100％を上下する場合があります。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100％として算出しています。  
（回答者総数または該当者数）
- ・質問の終わりに【複数回答可】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であるため、各回答の合計比率は100％を超える場合があります。
- ・文中、グラフ中の数値や選択肢の文言は、一部省略・簡略化してあります。また、割合が0％であった箇所の数値や選択肢の文言は省略していることがあります。
- ・質問の選択肢は、基本的に「     」で表していますが、選択肢を2つ以上合わせて数値を示す場合は“     ”で表してあります。

## Ⅱ 調査結果

### 1. 回答者の属性

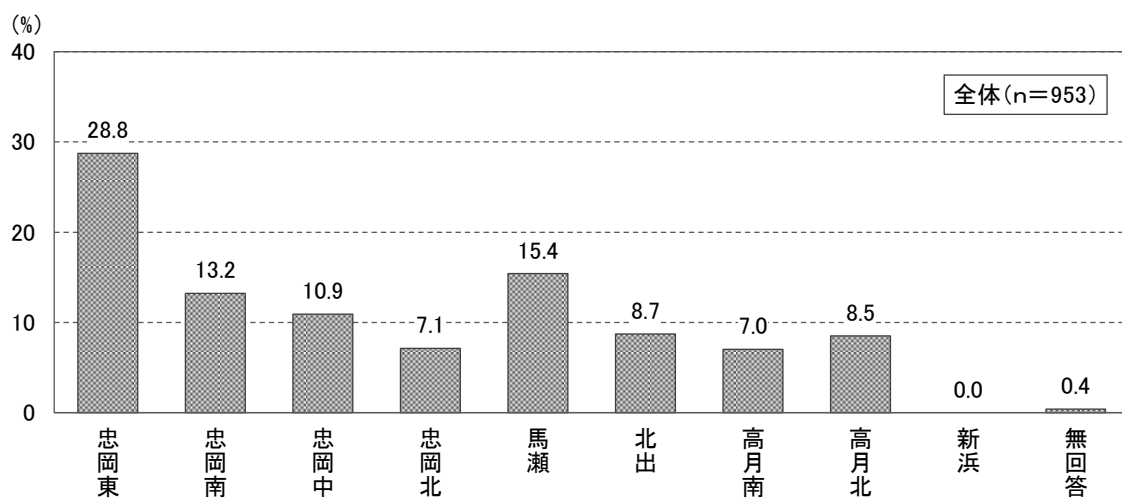
#### 問 年齢

・「60～69歳」が23.0%と最も高く、次いで、「70歳以上」(22.8%)、「50～59歳」(16.4%)の順となっています。



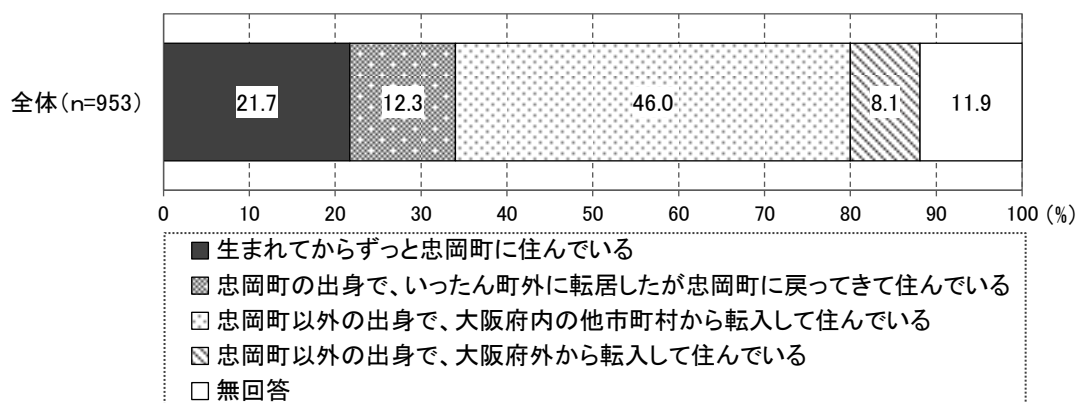
#### 問 居住地区

・「忠岡東」が28.8%と最も高く、次いで、「馬瀬」(15.4%)、「忠岡南」(13.2%)の順となっています。



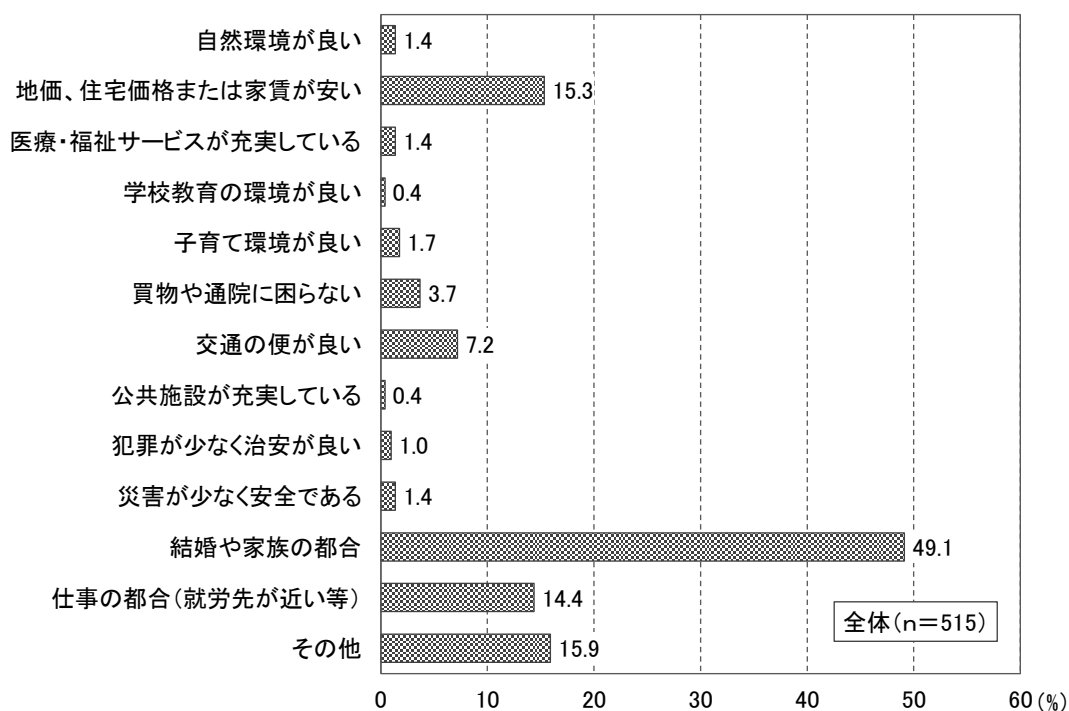
## 問 居住経歴

- ・「忠岡町以外出身で、大阪府内の他市町村から転入して住んでいる」が46.0%と最も高く、次いで、「生まれてからずっと忠岡町に住んでいる」(21.7%)、「忠岡町出身で、いったん町外に転居したが忠岡町に戻ってきて住んでいる」(12.3%)の順となっています。
- ・「その他」が15.9%と一定の割合が見られますが、具体的な理由を見ると、「結婚や家族の都合」が49.1%と最も高く、次いで、「地価、住宅価格または家賃が安い」(15.3%)、「仕事の都合(就労先が近い等)」(14.4%)の順となっています。



## 問

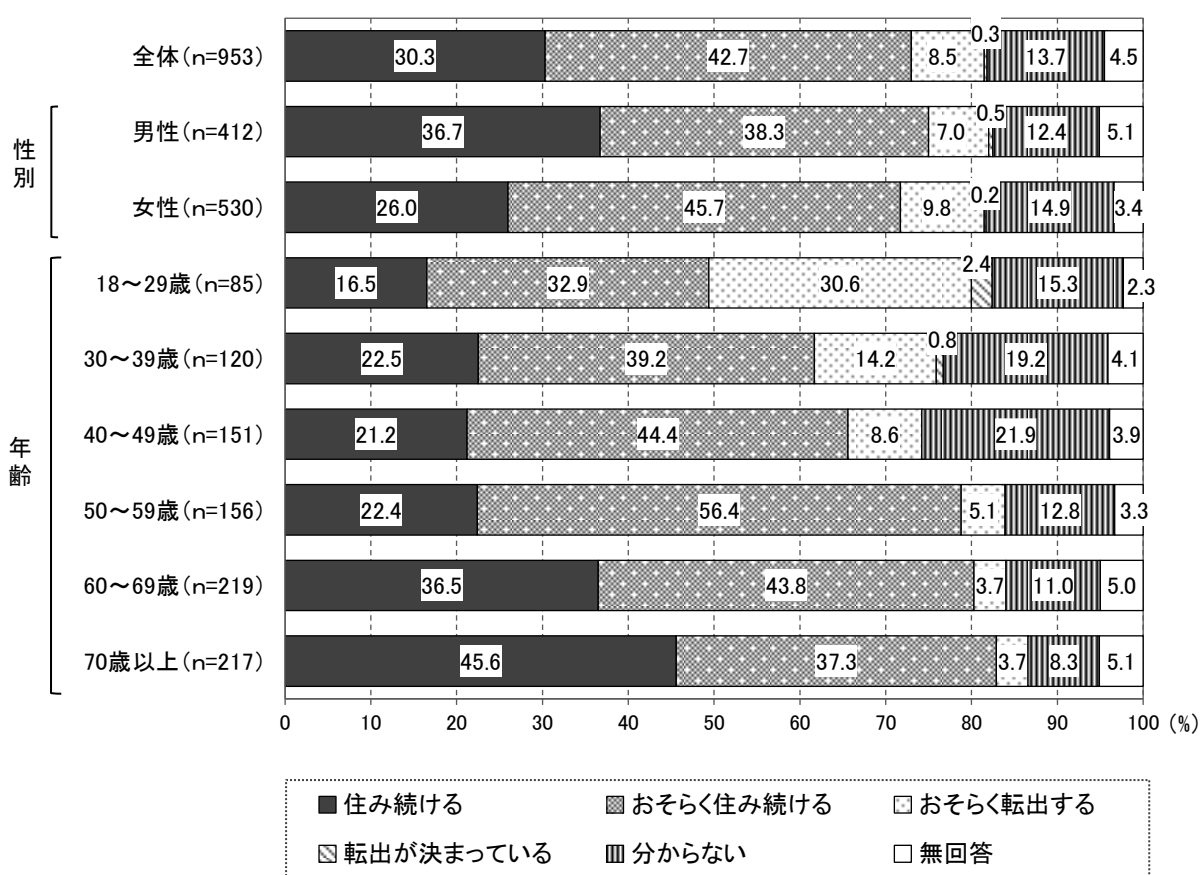
◆「居住経歴」で、「3.」または「4.」(転入して住んでいる)と答えた方。他の市町村から転入してこられた理由は何ですか。【複数回答可】



## 2. 忠岡町への定住の意向について

問 これからも忠岡町に住み続けたいと思いますか。

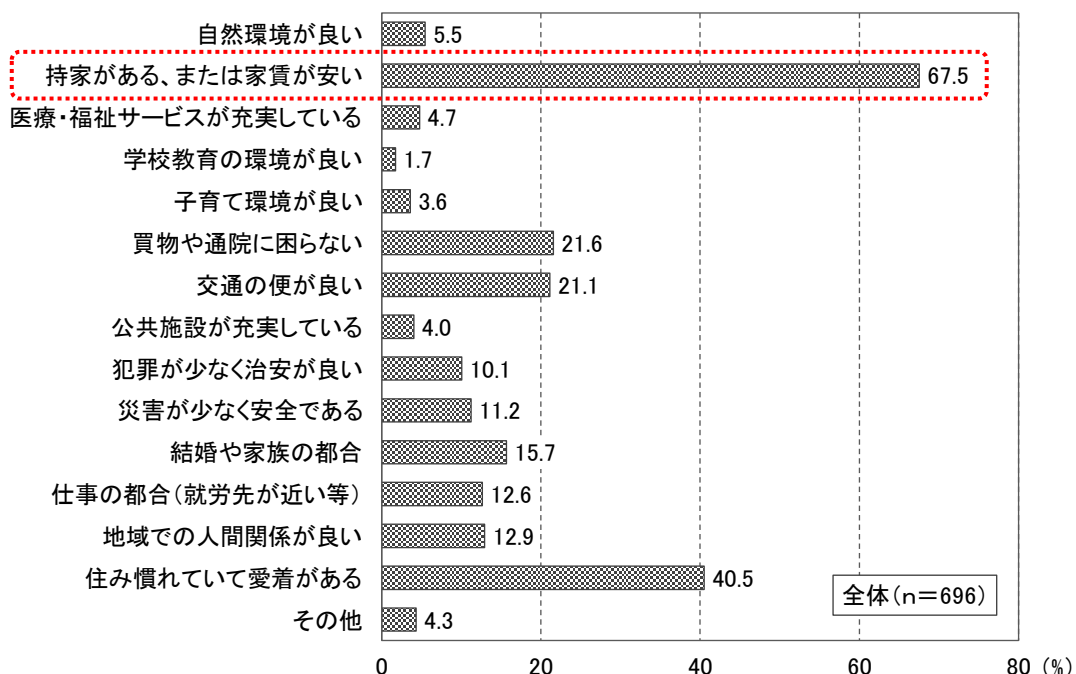
- ・「おそらく住み続ける」が42.7%と最も高く、次いで、「住み続ける」(30.3%)、「分からない」(13.7%)の順となっており、「住み続ける」と「おそらく住み続ける」を合わせた“住み続ける”は73.0%となっています。
- ・年齢層別で見ると、若年層ほど「分からない」が高く、年齢が上がるにつれて定住意向が強まる傾向にあります。



問

◆「これからも忠岡町に住みたいと思いますか。」で、「1.」または「2.」（住み続ける）と答えた方。  
忠岡町に住み続けたいと思う理由は何ですか。【複数回答可】

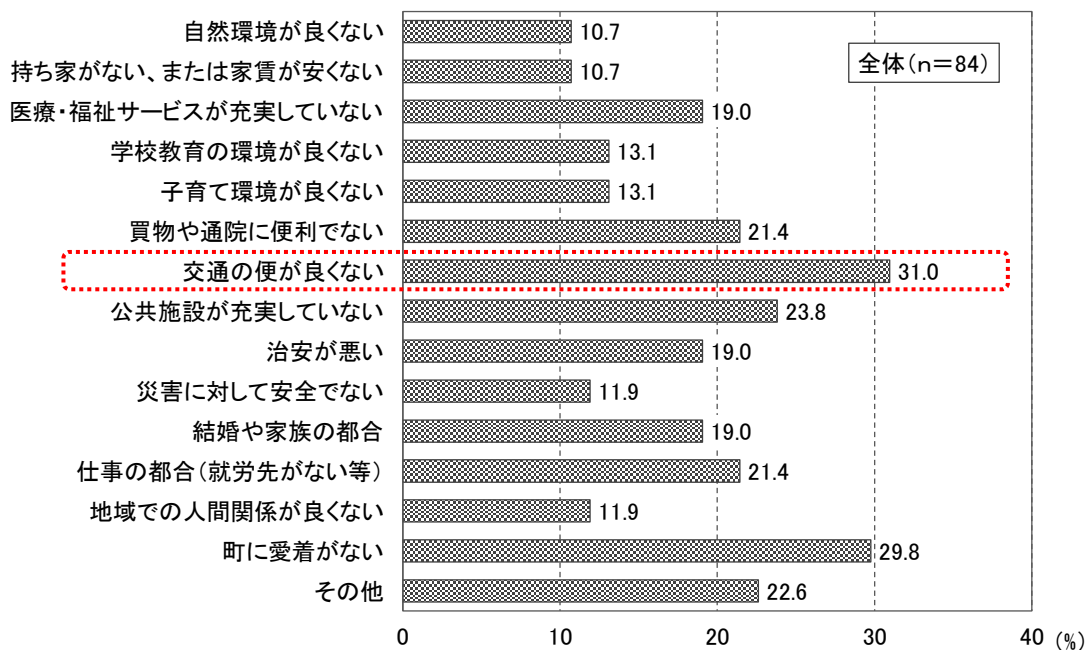
・「持家がある、または家賃が安い」が67.5%と最も高く、次いで、「住み慣れていて愛着がある」（40.5%）、「買物や通院に困らない」（21.6%）の順となっています。



問

◆「これからも忠岡町に住みたいと思いますか。」で、「3.」または「4.」（転出する）と答えた方。  
忠岡町に住み続けたいと思わない理由は何ですか。【複数回答可】

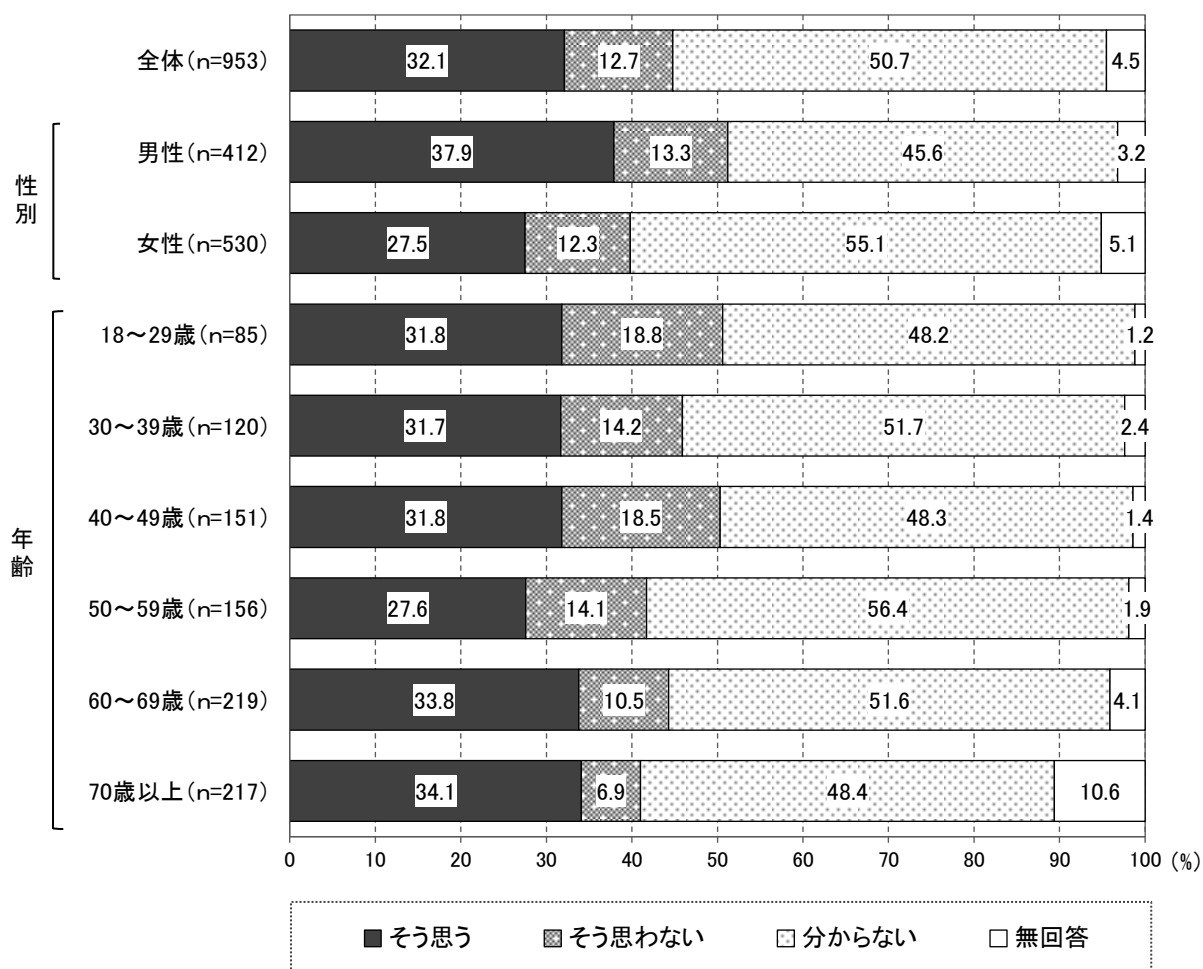
・「交通の便が良くない」が31.0%と最も高く、次いで、「町に愛着がない」（29.8%）、「公共施設が充実していない」（23.8%）の順となっています。



### 3. 地域活動等に対しての協働意向

**問** 地域住民や各種団体、忠岡町等とまちづくりの面で協働したいと思いますか。

- ・全体では、「分からない」が50.7%と最も高く、次いで、「そう思う」(32.1%)、「そう思わない」(12.7%)の順となっています。
- ・年齢層別で見ると、60歳以上の住民はその他の年代と比較して、「そう思う」と答える割合がやや高くなっています。



#### 《協働したいと思う分野》

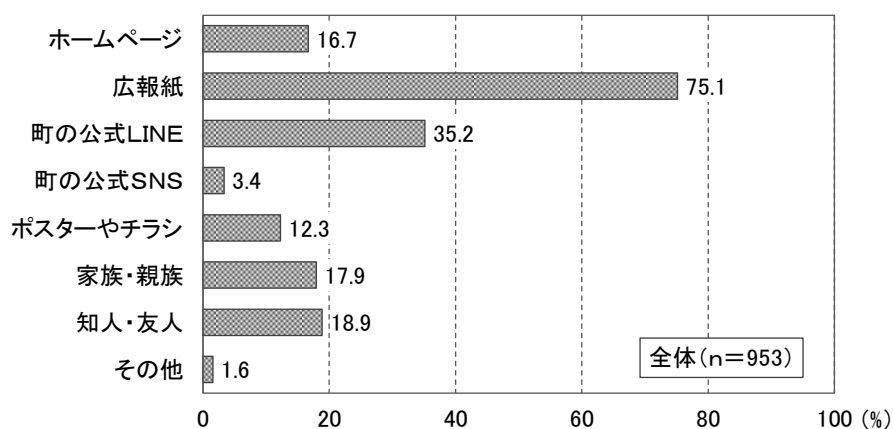
- ・「こども・子育てへの支援」が44.4%と最も高く、次いで、「環境・美化活動」(37.9%)、「地域でのイベント・祭りの開催」(32.0%)の順となっています。

## 4. 情報の入手手段

問

あなたは、町政やイベント等の町からの情報をどのような手段で入手していますか。【複数回答可】

- ・「広報紙」が75.1%と最も高く、次いで、「町の公式LINE」(35.2%)、「知人・友人」(18.9%)の順となっています。
- ・年齢層別で見ると、「広報紙」の利用率は全年代を通して6割以上と全体平均を上回っている一方で、30～49歳では「町の公式LINE」が5割近くとなっており、本町の広報基盤である「広報紙」に加え、「公式LINE」の補完的な活用が求められます。



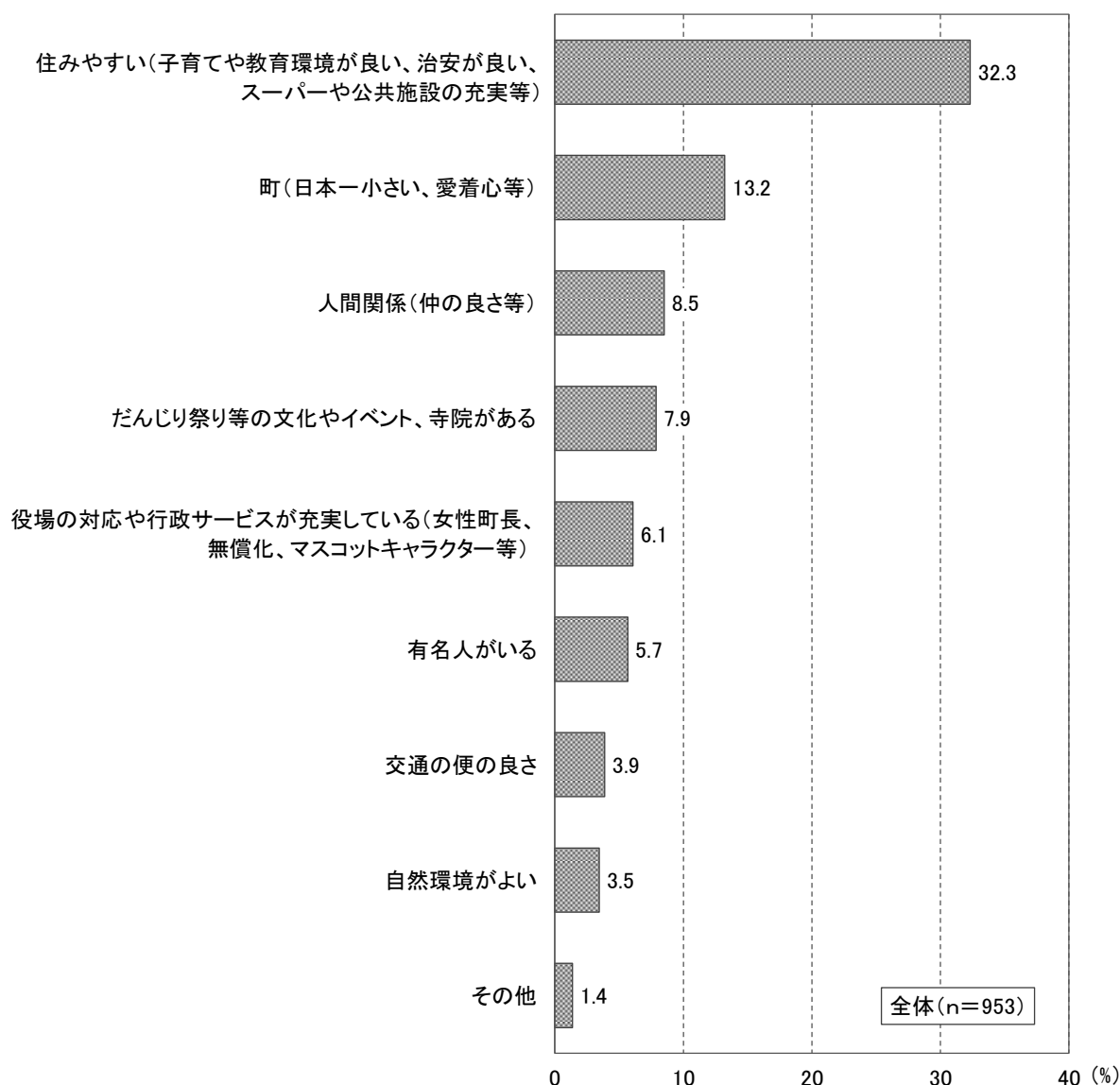
			ホーム ページ	広 報 紙	町 の 公 式 L I N E	町 の 公 式 S N S	ポ ス タ ー や チ ラ シ	家 族 ・ 親 族	知 人 ・ 友 人	そ の 他
		(n=)								
全体		953	159 16.7%	716 75.1%	335 35.2%	32 3.4%	117 12.3%	171 17.9%	180 18.9%	15 1.6%
性別	男性	412	82 19.9%	313 76.0%	124 30.1%	14 3.4%	53 12.9%	75 18.2%	67 16.3%	9 2.2%
	女性	530	73 13.8%	396 74.7%	207 39.1%	18 3.4%	64 12.1%	95 17.9%	113 21.3%	6 1.1%
年齢	18～29歳	85	10 11.8%	54 63.5%	14 16.5%	1 1.2%	12 14.1%	39 45.9%	18 21.2%	1 1.2%
	30～39歳	120	26 21.7%	72 60.0%	56 46.7%	10 8.3%	23 19.2%	27 22.5%	20 16.7%	4 3.3%
	40～49歳	151	32 21.2%	101 66.9%	71 47.0%	5 3.3%	17 11.3%	32 21.2%	30 19.9%	3 2.0%
	50～59歳	156	25 16.0%	115 73.7%	54 34.6%	6 3.8%	16 10.3%	27 17.3%	22 14.1%	2 1.3%
	60～69歳	219	38 17.4%	188 85.8%	86 39.3%	4 1.8%	18 8.2%	29 13.2%	37 16.9%	4 1.8%
	70歳以上	217	27 12.4%	183 84.3%	52 24.0%	6 2.8%	31 14.3%	17 7.8%	53 24.4%	1 0.5%

## 5. 忠岡町の自慢

問

あなたが思う忠岡町の自慢したいところを記入してください。【自由記述】  
※回答していただいた記述をカテゴリーに分けて集計し、グラフ化しました。

- ・「住みやすい(子育てや教育環境が良い、治安が良い、スーパーや公共施設の充実等)」が32.3%と最も高く、次いで、「町(日本一小さい、愛着心等)」(13.2%)、「人間関係(仲の良さ等)」(8.5%)の順となっています。





## 6. 忠岡町の現状に対する満足度・重要度の分析

問

町の取組に関する各項目の「現状に対する満足度」と「今後の重要度」についてお答えください。

「現状に対する満足度」と「今後の重要度」の回答について、以下の方法により点数化しました。

現状に対する満足度	
満足	10 点
どちらかと言えば満足	5 点
どちらかと言えば不満	-5 点
不満	-10 点
分からない	0 点

今後の重要度	
重要	10 点
どちらかと言えば重要	5 点
あまり重要でない	-5 点
重要でない	-10 点
分からない	0 点

各選択肢の回答者数に回答ごとの点数（-10～10 点）を乗じ、その合計について、全体から「無回答」を除く回答数で割った値をそれぞれの項目の評価点としました。

（例：「現状に対する満足度 ①学校教育の充実」の評価点算出）

全体 (n=)	現状に対する満足度 ①学校教育の充実					
	満足	どちらか 言えば満足	どちらか 言えば不満	不満	分からない	無回答
953	25	212	145	72	450	49

（単位：件）

$$\begin{aligned}\text{評価点} &= (10 \times 25 + 5 \times 212 + -5 \times 145 + -10 \times 72 + 0 \times 450) \div (953 - 49) \\ &= -0.14934\end{aligned}$$

小数点第3位を四捨五入することにより、評価点は -0.15 点となります。

「満足度が低い」且つ「重要度が高い」

満足度と重要度、それぞれの評価点の平均を基準とした相関図を示しました。「満足度低・重要度高」に位置している項目は、住民が最も対応を求めている施策項目となります。

## ■評価点一覧

	項目	満足度 (点)	重要度 (点)
こども・教育分野	①学校教育の充実	-0.15	5.59
	②学校教育環境の充実	-0.21	5.52
	③結婚・妊娠・出産を支える包括的な支援の充実	-0.50	5.37
	④安心して子育てできる環境の充実	-0.24	6.03
	⑤青少年の健全育成	-1.40	5.61
健康・福祉分野	①高齢者福祉の充実	-0.33	5.29
	②障がい者福祉の充実	-0.50	5.22
	③地域福祉の充実	-0.59	5.10
	④健康づくりの推進	0.07	5.11
	⑤社会保障の充実	-1.50	5.84
自治・多様性分野	①人権・多文化共生の意識醸成	-0.07	2.92
	②地域共助・コミュニティ活動の支援	-0.13	3.49
	③魅力向上・発信	-0.92	2.93
	④生涯学習・生涯スポーツの推進	-0.37	3.60
安全・安心な暮らし分野	①防災力・減災力の向上	-0.81	7.02
	②生活安全対策の推進	-0.78	6.61
	③消防防災体制の充実強化	0.33	6.54
環境・都市基盤分野	①適正な土地利用の推進	-1.45	4.66
	②交通環境の整備	-1.46	6.27
	③良好で快適な住環境の形成	-0.22	5.71
	④公衆衛生の維持	-0.45	6.05
	⑤環境への配慮	-0.58	5.61
産業・雇用分野	①産業振興・創業	-1.17	3.96
	②就労支援	-1.35	4.51
まちの運営・施設管理分野	①効率的な行財政運営の推進	-1.62	5.53
	②公共施設の適正管理	-1.00	5.27
	③人材育成	-1.30	5.19
平均		-0.69	5.21

### ◆次ページ以降におけるグラフ内の項目名について

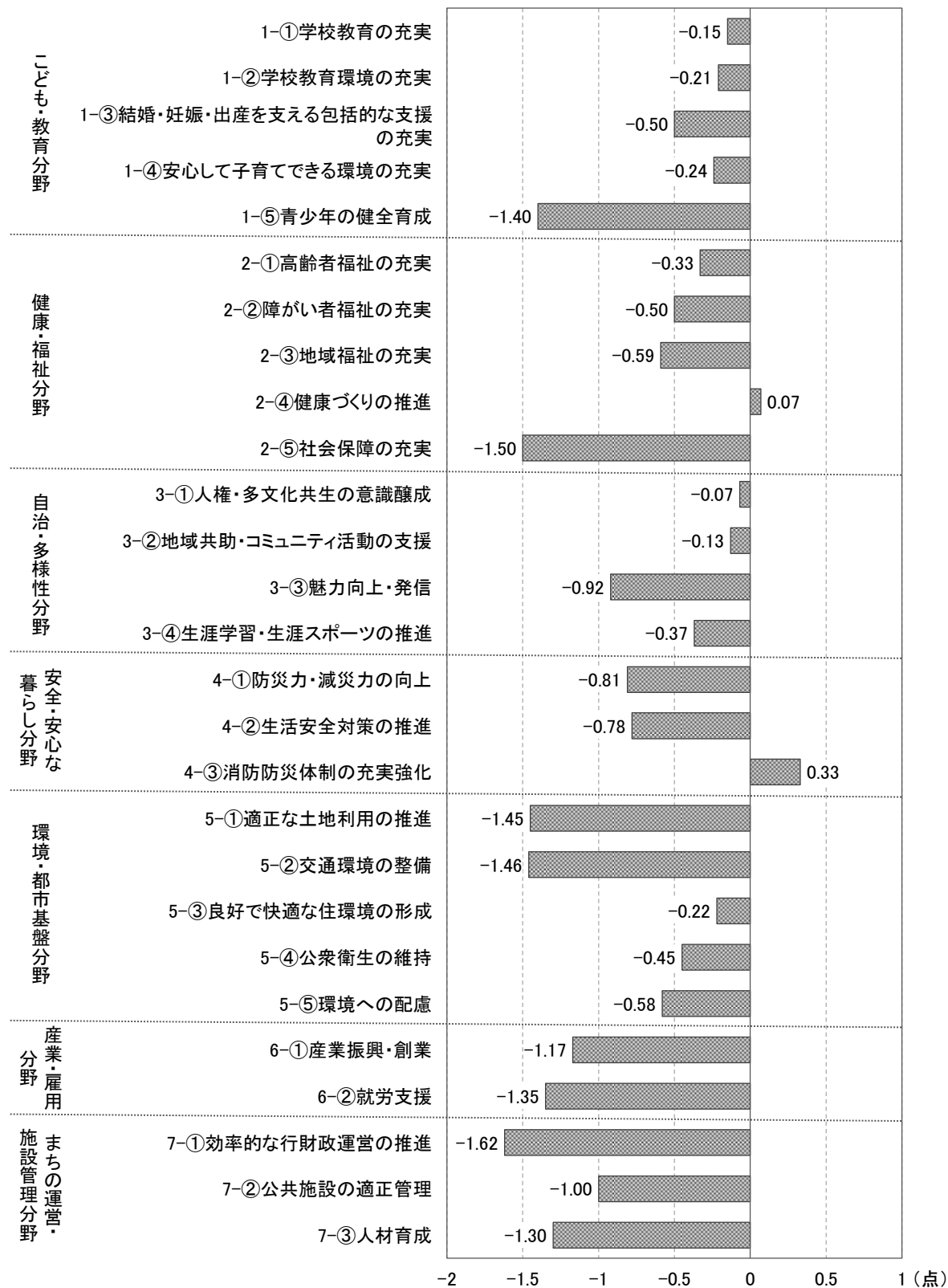
先頭に番号を付加して表記しています。

「1-」は「こども・教育分野」、「2-」は「健康・福祉分野」、「3-」は「自治・多様性分野」

「4-」は「安全・安心な暮らし分野」、「5-」は「環境・都市基盤分野」、「6-」は「産業・雇用分野」、  
「7-」は「まちの運営・施設管理分野」を表しています。

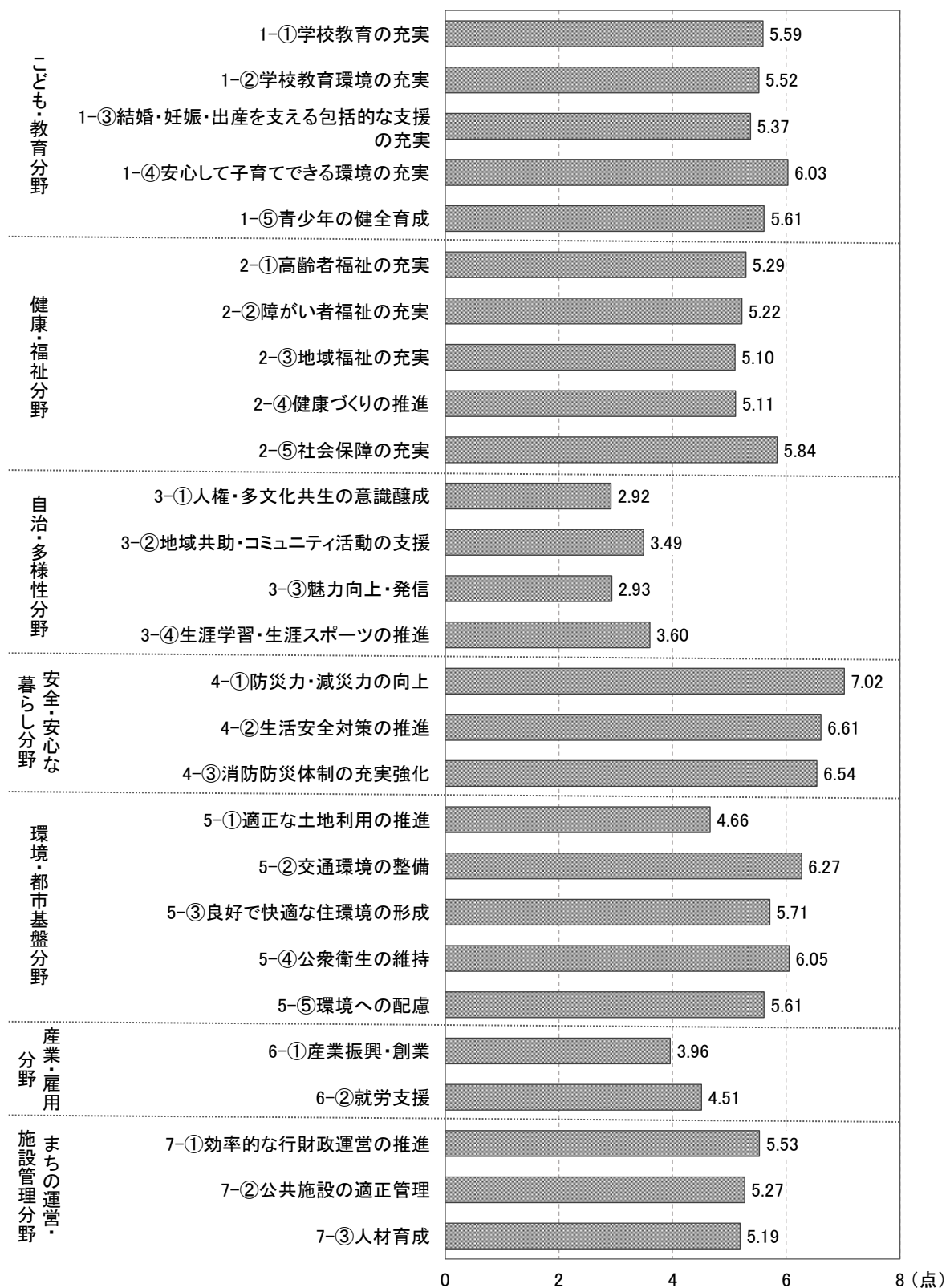
## ■評価点比較「満足度」

満足度では、「4-③消防防災体制の充実強化」が0.33点と最も高く、次いで、「2-④健康づくりの推進」(0.07点)、「3-①人権・多文化共生の意識醸成」(-0.07点)の順となっています。



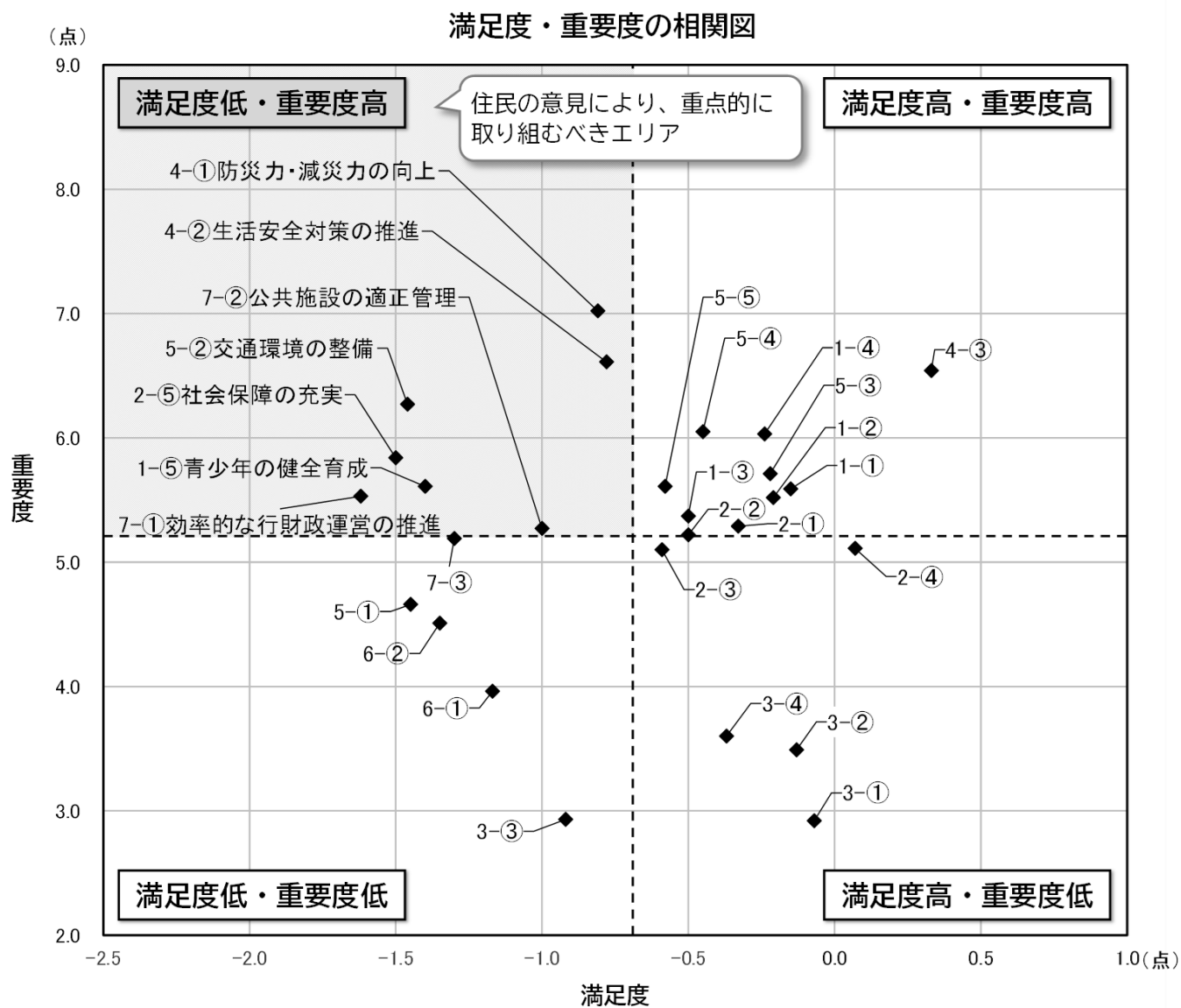
## ■評価点比較「重要度」

重要度では、「4-①防災力・減災力の向上」が7.02点と最も高く、次いで、「4-②生活安全対策の推進」(6.61点)、「4-③消防防災体制の充実強化」(6.54点)の順となっています。



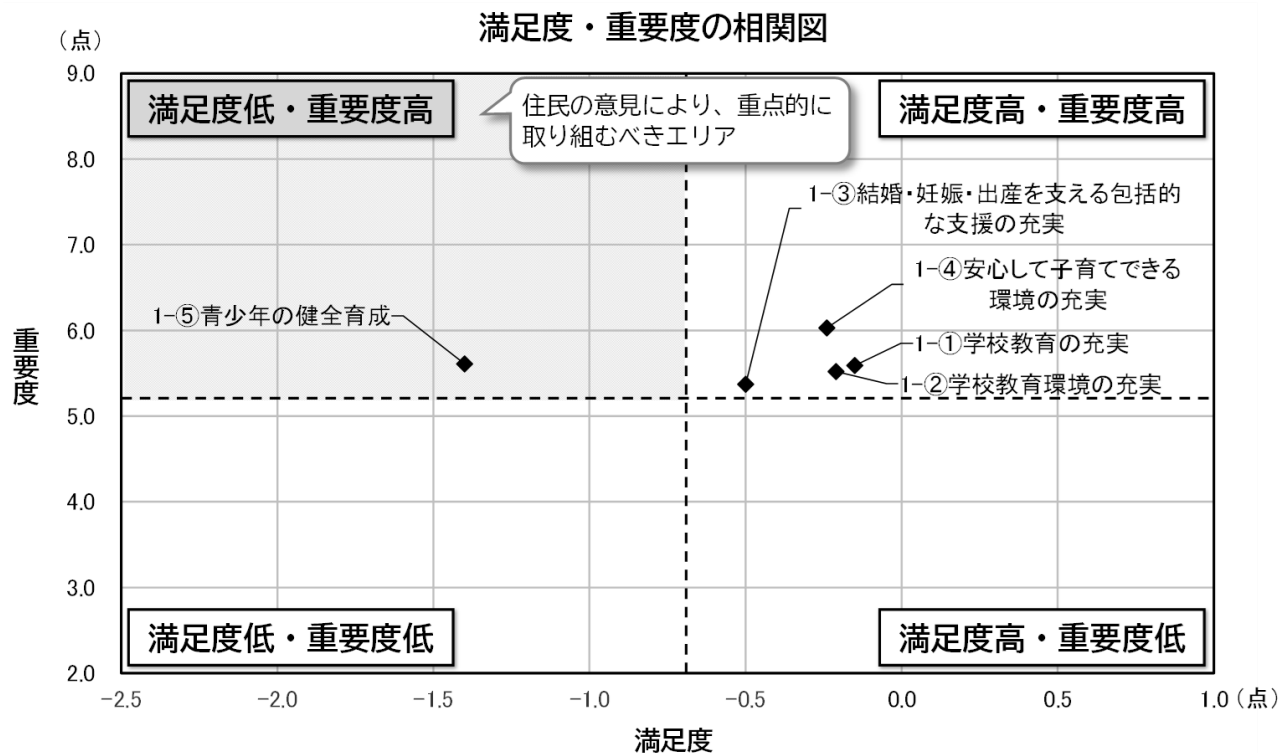
## 満足度・重要度の分布

「1-⑤青少年の健全育成」・「2-⑤社会保障の充実」・「4-①防災力・減災力の向上」・「4-②生活安全対策の推進」・「5-②交通環境の整備」・「7-①効率的な行財政運営の推進」・「7-②公共施設の適正管理」の項目について、満足度が低く重要度が高いところに位置しています。



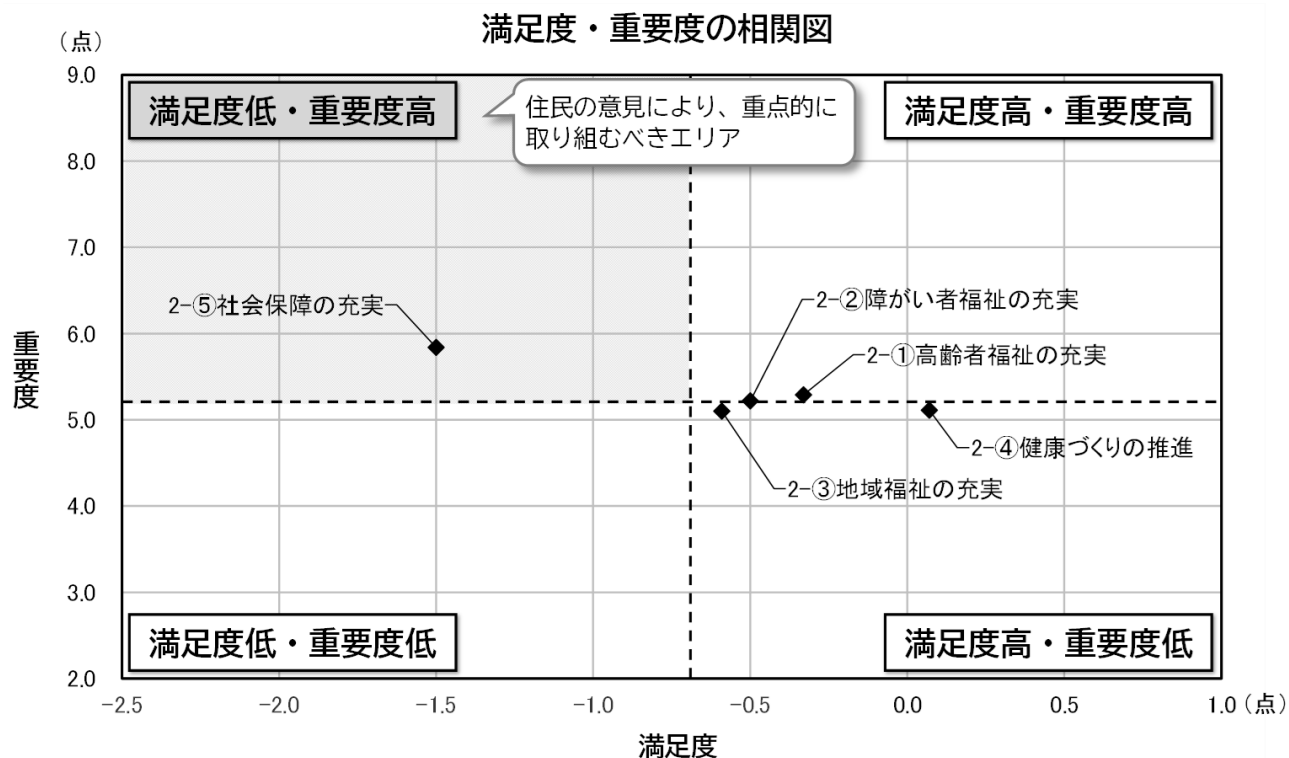
## こども・教育分野

こども・教育分野では、「1-⑤青少年の健全育成」の項目について、満足度が低く重要度が高いところに位置しています。



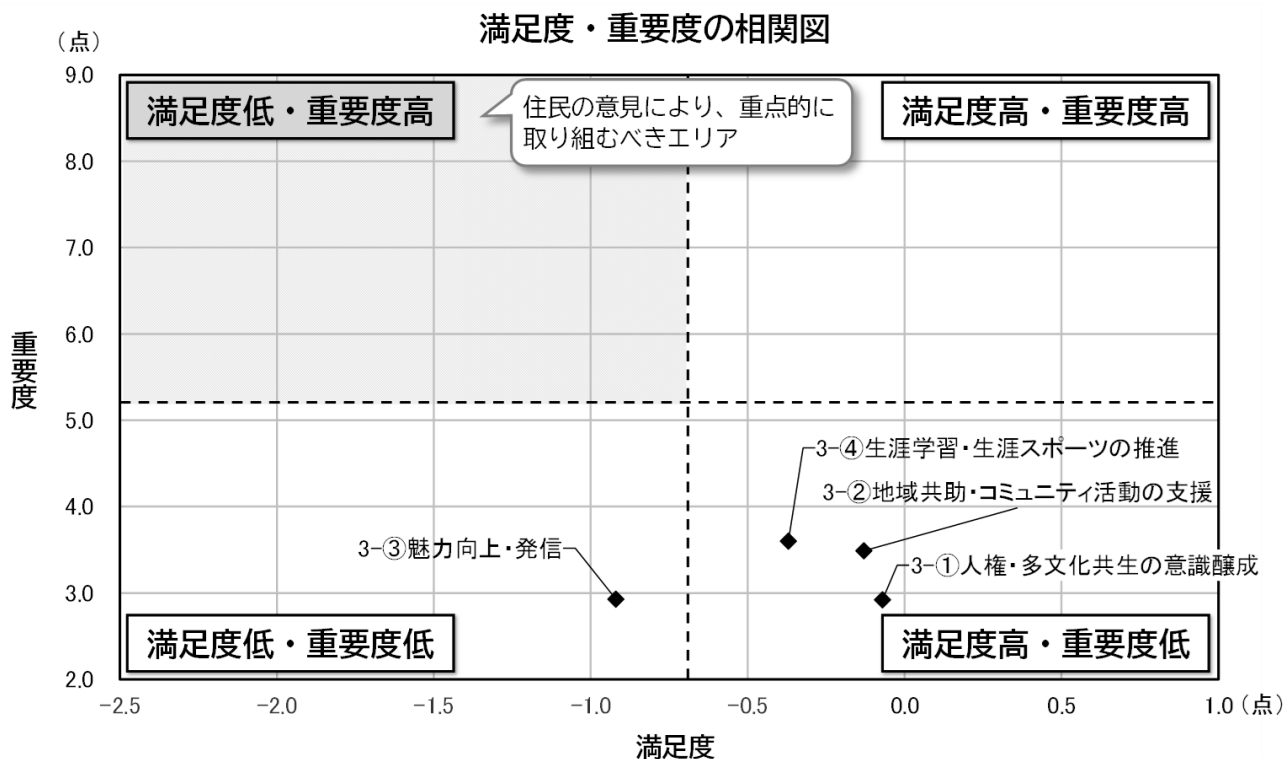
## 健康・福祉分野

健康・福祉分野では、「2-⑤社会保障の充実」の項目について、満足度が低く重要度が高いところに位置しています。



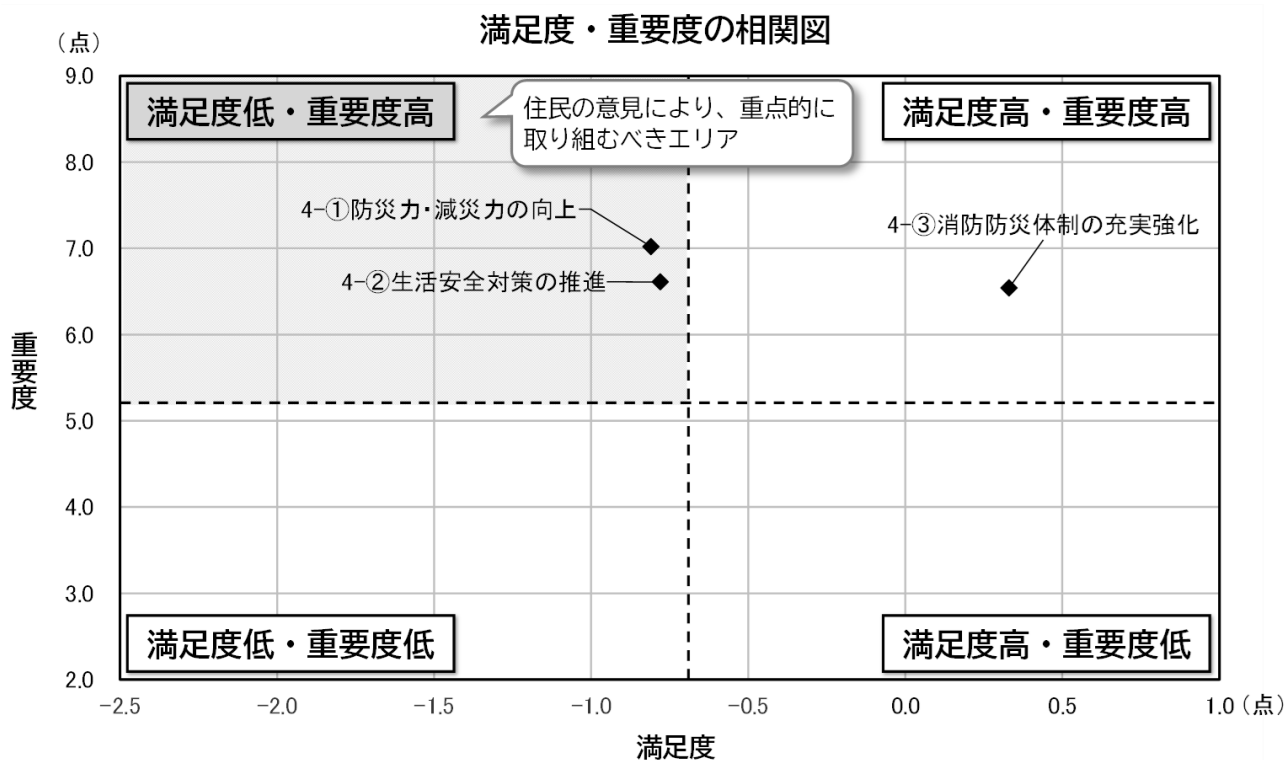
## 自治・多様性分野

自治・多様性分野では、満足度が低く重要度が高いところに位置している項目はなく、全て重要度が低いところに位置しています。



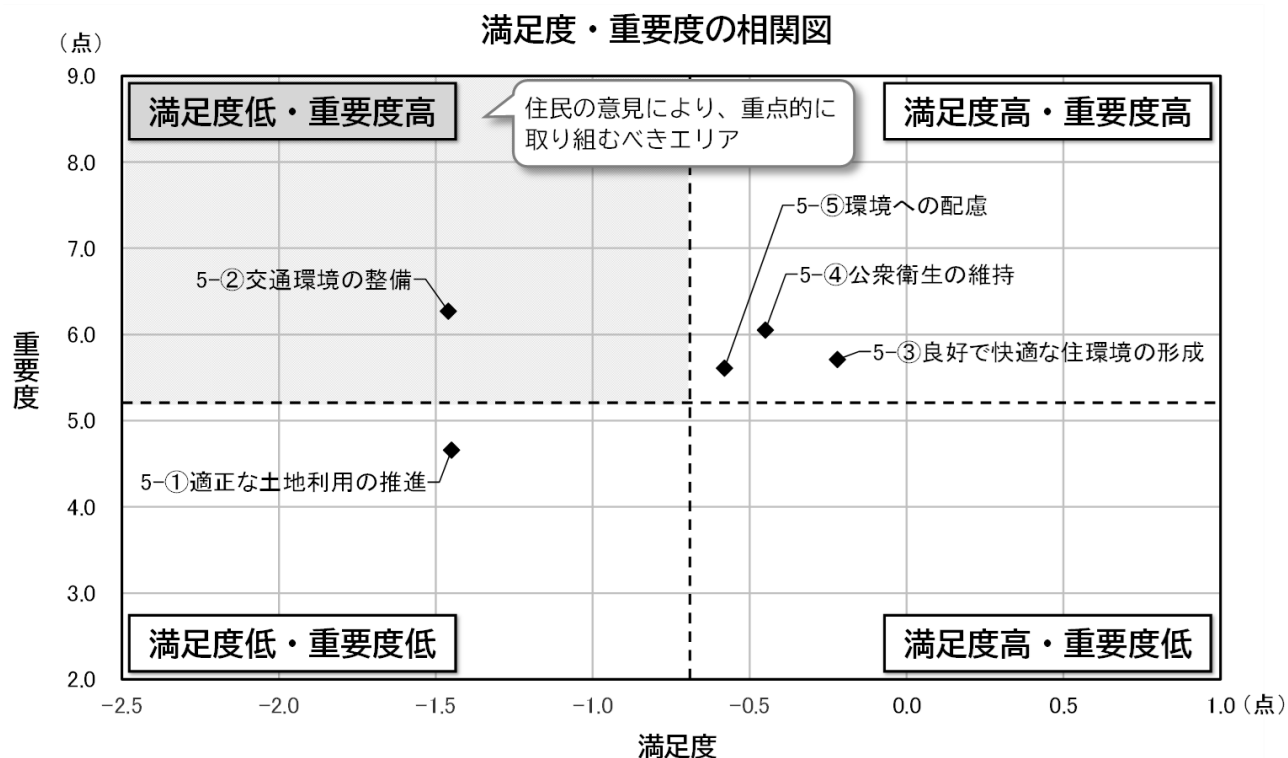
## 安全・安心な暮らし分野

安全・安心な暮らし分野では、「4-①防災力・減災力の向上」・「4-②生活安全対策の推進」の項目について、満足度が低く重要度が高いところに位置しています。



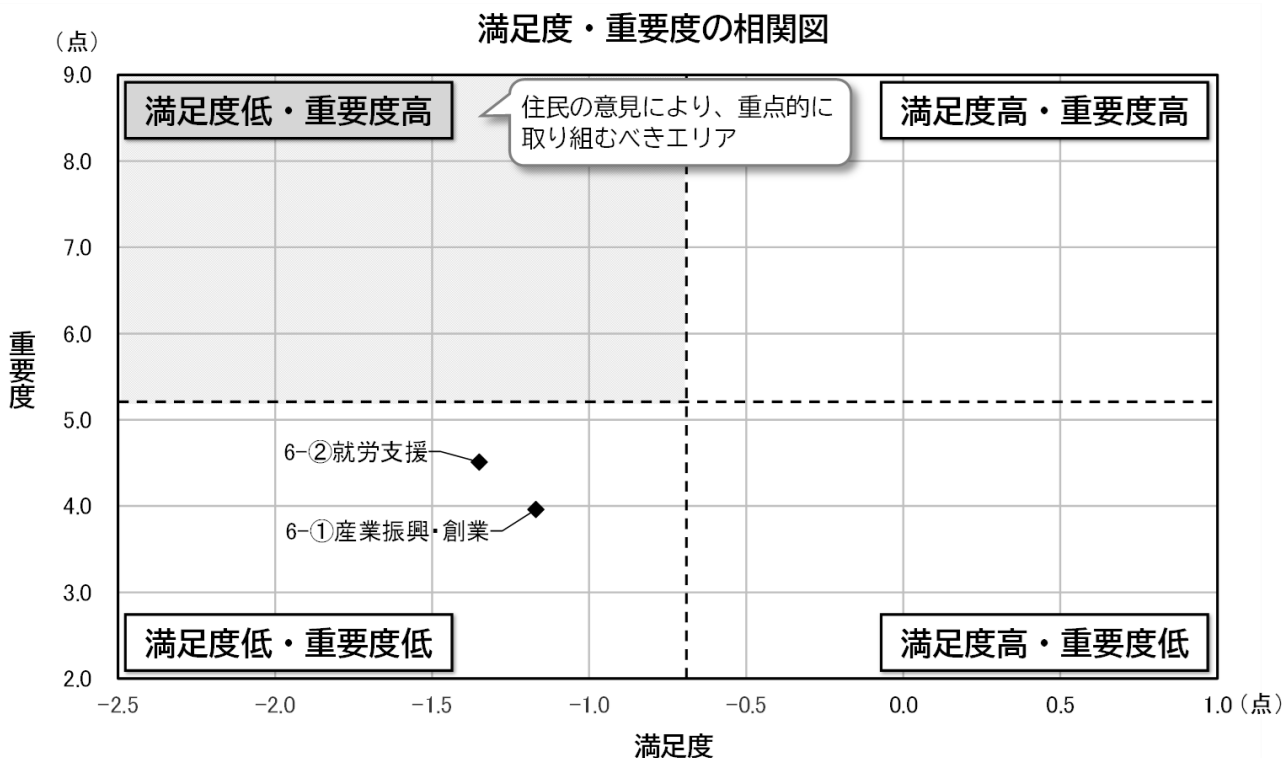
## 環境・都市基盤分野

環境・都市基盤分野では、「5-②交通環境の整備」の項目について、満足度が低く重要度が高いところに位置しています。



## 産業・雇用分野

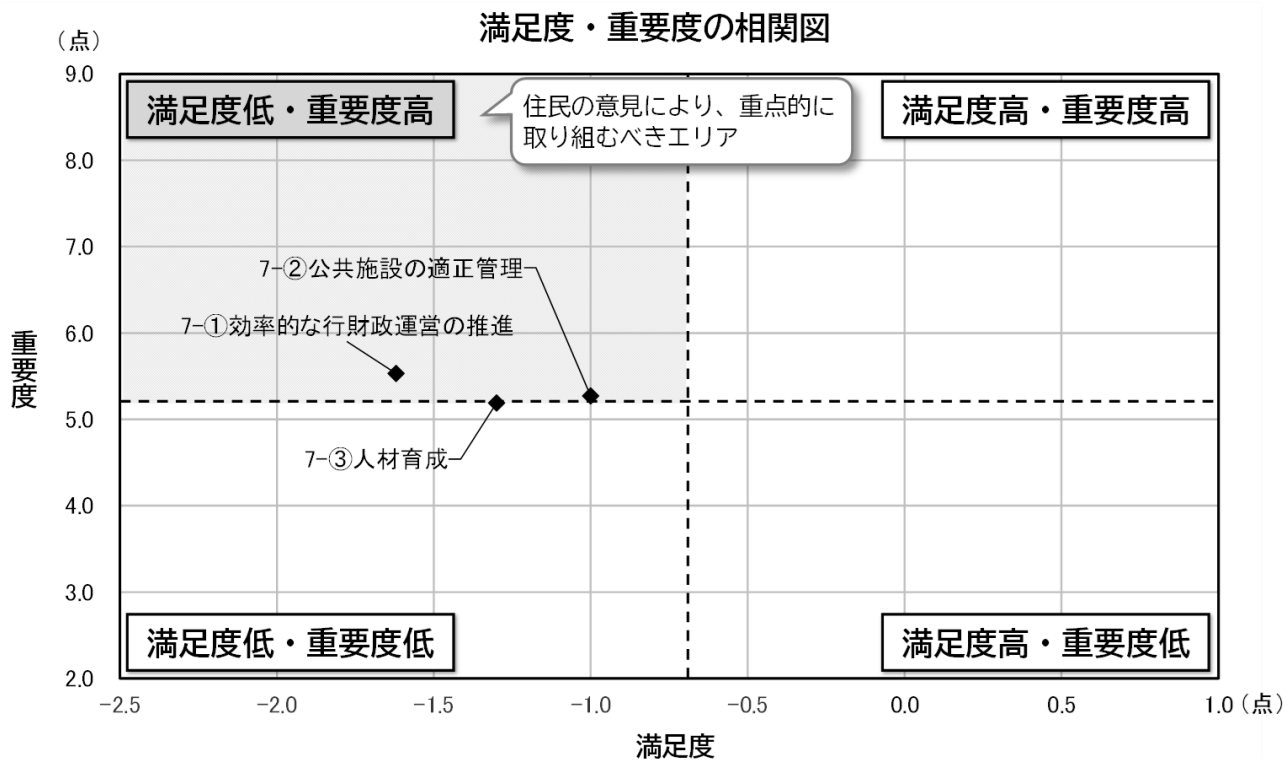
産業・雇用分野では、満足度が低く重要度が高いところに位置している項目はなく、全て満足度が低く重要度が低いところに位置しています。





## まちの運営・施設管理分野

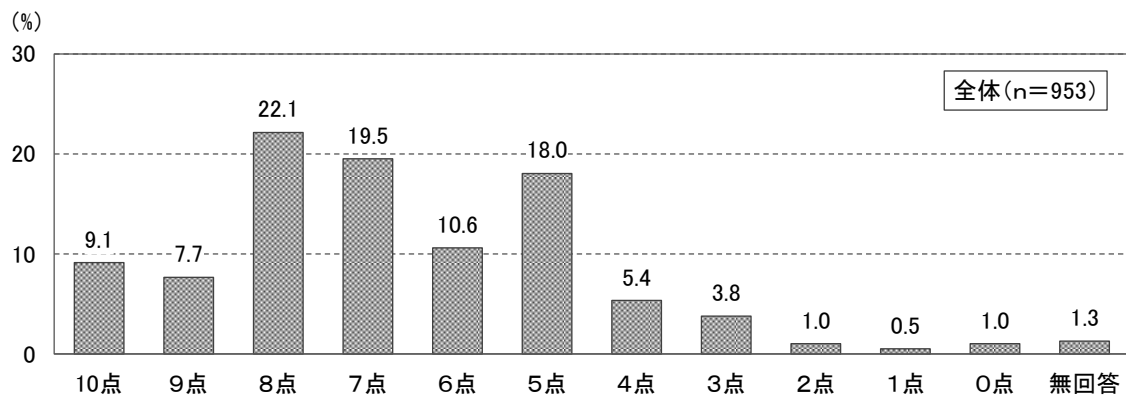
まちの運営・施設管理分野では、「7-①効率的な行財政運営の推進」・「7-②公共施設の適正管理」の項目について、満足度が低く重要度が高いところに位置しています。



## 7. 地域幸福度について

問 現在、あなたはどの程度幸せですか。

- ・「8点」が22.1%と最も高く、次いで、「7点」(19.5%)、「5点」(18.0%)の順となっています。また、平均は6.7点となっています。
- ・性別で見ると、女性の平均は6.9点と男性(6.5点)より高く、特に「8点以上」と回答した割合は、男性を上回っています。
- ・年齢層別で見ると、50代では平均6.5点と最も低く、「5点」と回答した割合が23.7%と他世代に比べて高くなっています。60代では平均6.7点、70歳以上では平均6.6点と回復していますが、70歳以上で「5点」及び「8点」の回答がそれぞれ2割を超えており、評価が二極化しています。



		(n=)	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	無回答	平均
全体		953	87 9.1%	73 7.7%	211 22.1%	186 19.5%	101 10.6%	172 18.0%	51 5.4%	36 3.8%	10 1.0%	5 0.5%	10 1.0%	11 1.3%	6.7
性別	男性	412	27 6.6%	24 5.8%	90 21.8%	84 20.4%	47 11.4%	83 20.1%	23 5.6%	19 4.6%	3 0.7%	4 1.0%	3 0.7%	5 1.3%	6.5
	女性	530	58 10.9%	47 8.9%	120 22.6%	101 19.1%	52 9.8%	87 16.4%	27 5.1%	17 3.2%	7 1.3%	1 0.2%	7 1.3%	6 1.2%	6.9
年齢	18～29歳	85	13 15.3%	5 5.9%	19 22.4%	19 22.4%	5 5.9%	11 12.9%	6 7.1%	3 3.3%	1 1.2%	1 1.2%	1 1.2%	1 1.2%	6.9
	30～39歳	120	12 10.0%	10 8.3%	26 21.7%	29 24.2%	15 12.5%	16 13.3%	6 5.0%	2 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	3 2.5%	7.0
	40～49歳	151	14 9.3%	16 10.6%	32 21.2%	27 17.9%	25 16.6%	17 11.3%	5 3.3%	7 4.6%	3 2.0%	2 1.3%	2 1.3%	1 0.6%	6.8
	50～59歳	156	13 8.3%	8 5.1%	29 18.6%	32 20.5%	19 12.2%	37 23.7%	6 3.8%	5 3.2%	3 1.9%	1 0.7%	2 1.3%	1 0.7%	6.5
	60～69歳	219	18 8.2%	18 8.2%	53 24.2%	41 18.7%	21 9.6%	37 16.9%	14 6.4%	10 4.6%	2 0.9%	0 0.0%	3 1.4%	2 0.9%	6.7
	70歳以上	217	16 7.4%	16 7.4%	50 23.0%	37 17.1%	16 7.4%	53 24.4%	14 6.5%	9 4.1%	1 0.5%	1 0.5%	1 0.5%	3 1.2%	6.6

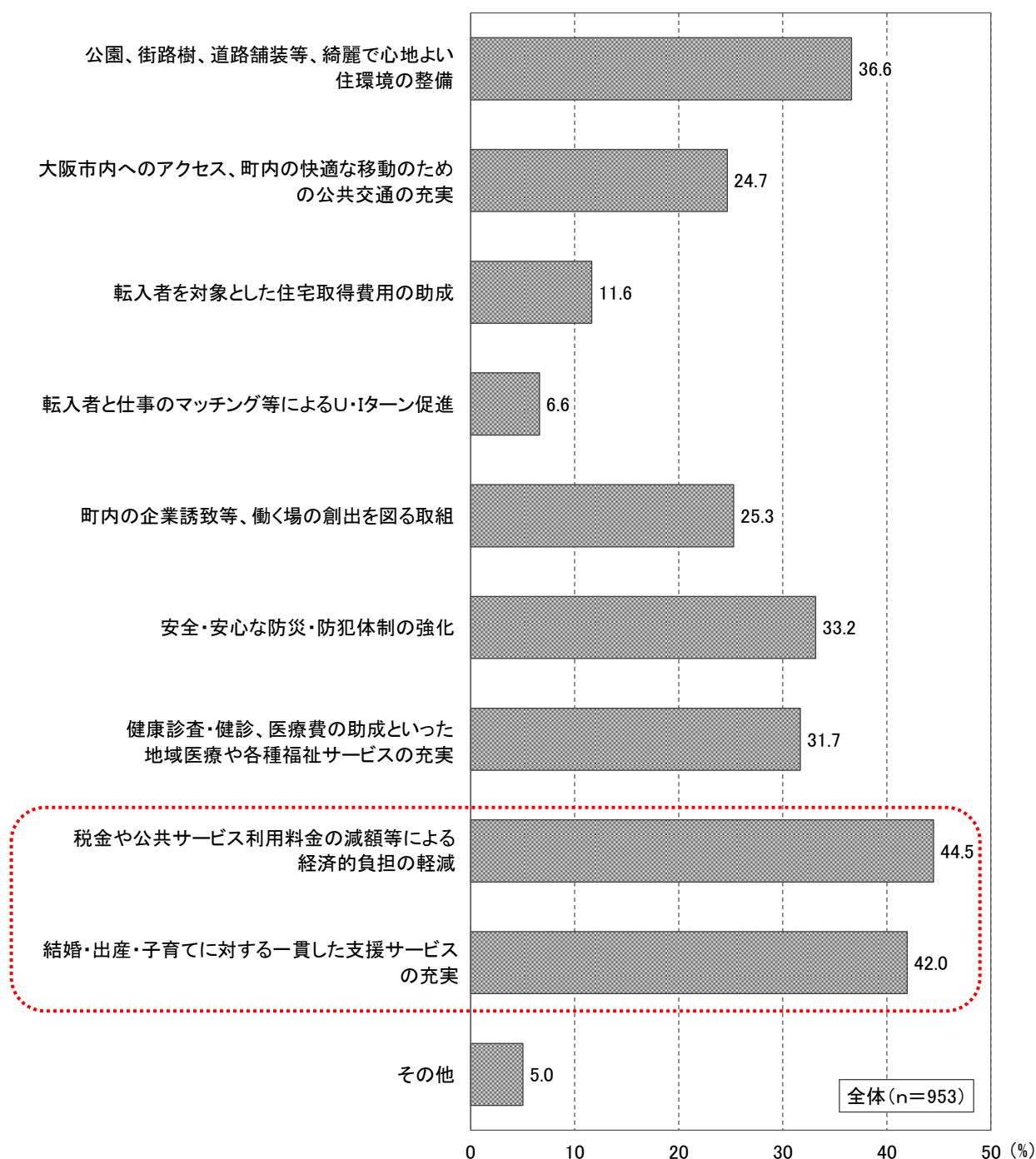
※点数が高いほど、幸せであることを示しています。

## 8. 町取組について

問

人口減少の対策として、転出抑制や転入促進を図るうえでどのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。【複数回答可】

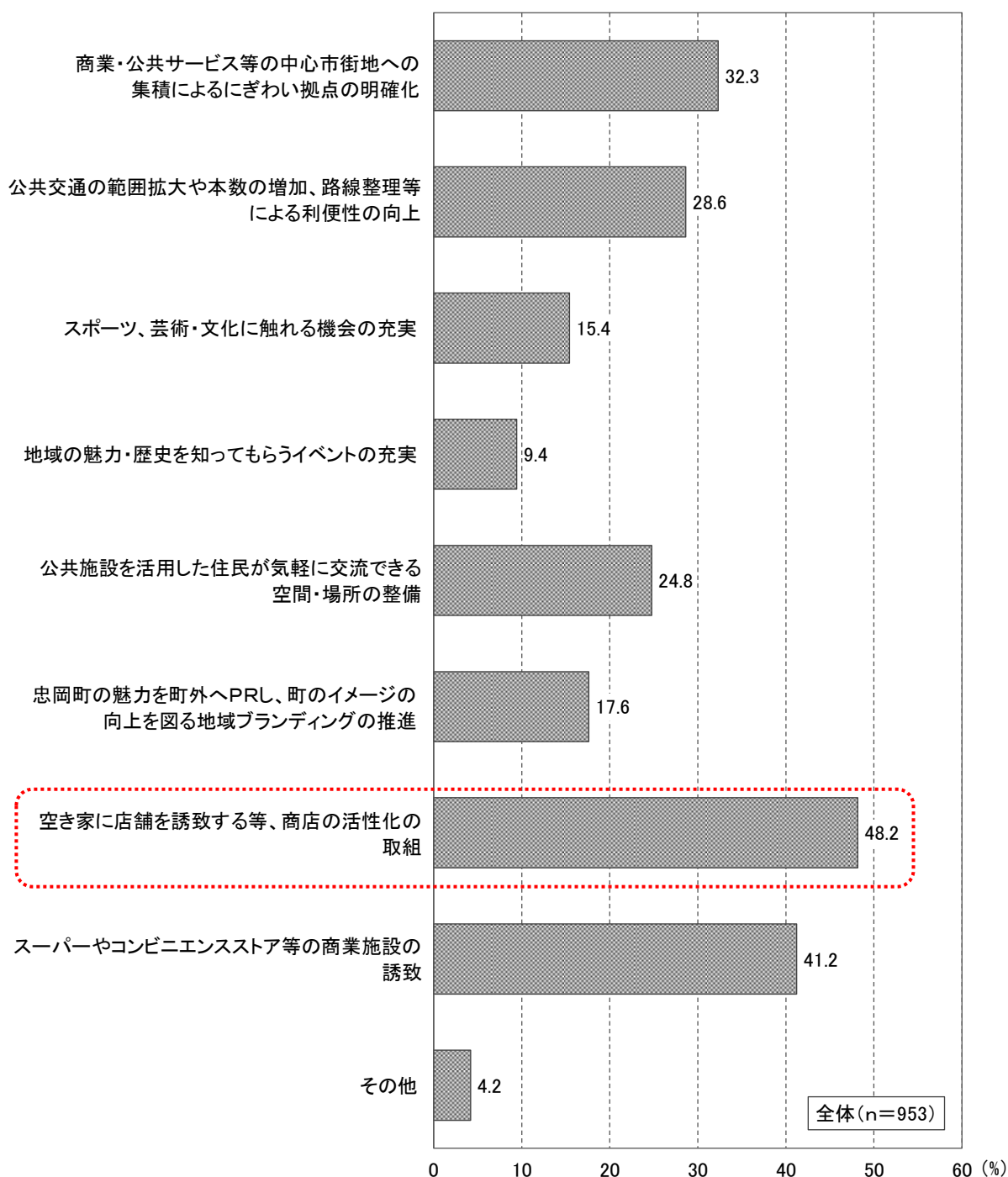
- ・「税金や公共サービス利用料金の減額等による経済的負担の軽減」が 44.5%と最も高く、次いで、「結婚・出産・子育てに対する一貫した支援サービスの充実」(42.0%)、「公園、街路樹、道路舗装等、綺麗で心地よい住環境の整備」(36.6%)の順となっています。



問

地域の活性化やにぎわいの創出に向けて、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。【複数回答可】

- ・「空き家に店舗を誘致する等、商店の活性化の取組」が48.2%と最も高く、次いで、「スーパーやコンビニエンスストア等の商業施設の誘致」(41.2%)、「商業・公共サービス等の中心市街地への集積によるにぎわい拠点の明確化」(32.3%)の順となっています。



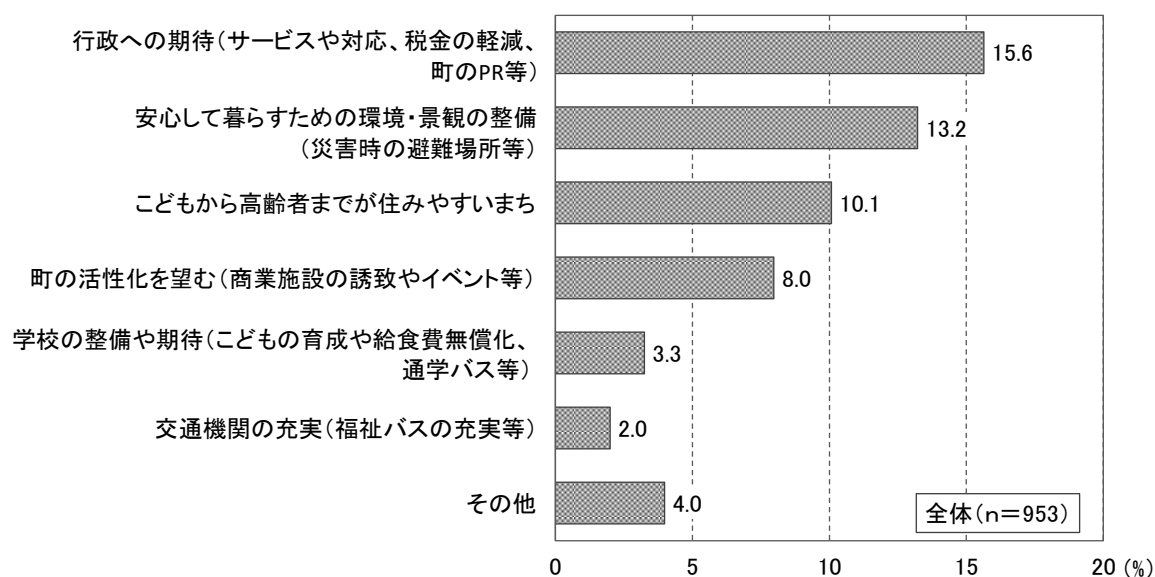
## 9. 自由記述

問

最後に、「こうあってほしい忠岡町」「住み続けたいと思える忠岡町」について、自由にご記入ください。【自由記述】

※回答していただいた記述をカテゴリーに分けて集計し、グラフ化しました。

- ・「行政への期待（サービスや対応、税金の軽減、町のPR等）」が 15.6%と最も高く、次いで、「安心して暮らすための環境・景観の整備（災害時の避難場所等）」（13.2%）、「こどもから高齢者までが住みやすいまち」（10.1%）の順となっています。



※この設問は自由記述形式のため、参考までに主な意見をピックアップしています。

- 飲食店やスーパーが少なく不便なので、駅前を明るく整備し、魅力あるお店や便利な施設を増やしてほしい。
- 保育料や給食費の負担を減らし、公園や遊び場を増やし、安心してこどもを預けられる学校や施設を整えてほしい。
- 小児科や産婦人科等の医療機関を増やし、福祉バスの拡充や介護・高齢者支援を手厚くしてほしい。
- 学校や地域の風紀を正し、防犯カメラや外灯を整備して、安心して暮らせる環境にしてほしい。
- 町民税や水道料金、国保・介護保険料が高すぎるので、物価高対策を含めて住民に還元してほしい。
- 老朽化した道路や歩道を直し、川や雑草を整備し、災害に備えた避難体制や耐震化支援を充実させてほしい。
- お祭りや行事を工夫して盛り上げ、世代を超えた交流や住民同士のつながりを大切にしてほしい。
- 不正のない町政を行い、議会や入札を透明にして、役場が住民の声にすぐ応えてくれるようになってほしい。
- 働く場や在宅勤務の機会を増やし、子育て世代を呼び込むような支援や仕組みをつくってほしい。
- 「日本一小さい町」である強みを活かし、文化やスポーツを盛り上げ、誇りを持てる町にしてほしい。

### Ⅲ 調査結果のまとめ

忠岡町への定住意向	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 町民の居住経歴を見ると、町外出身者が 54.1%と半数を超えており、転入の理由として、「仕事や家族の都合」の次に「地価、住宅価格または家賃が安い」となっている。</li> <li>■ 町民の将来の定住意向を見ると、「住み続ける」と「おそらく住み続ける」を合わせた“住み続ける”が73.0%を占めている。また、その理由として、「持ち家がある、または家賃が安い」の次に「住み慣れていて愛着がある」となっている。</li> <li>■ 町に住み続けたいと思わない（転出したい）理由を見ると、「交通の便が良くない」「町に愛着がない」「公共施設が充実していない」となっている。</li> </ul>
地域活動等に対する参加意向	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域活動等への参加意向（協働したいか）を見ると、全体では「そう思う」の割合が 32.1%となっており、男性が 37.9%と女性（27.5%）より「そう思う」と回答する割合が高い。</li> </ul>
情報の入手手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 町が発信する情報の入手手段を見ると、全体の 75.1%が「広報紙」と答えた。</li> </ul>
忠岡町の自慢	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「住みやすい（子育てや教育環境が良い、治安が良い、スーパーや公共施設の充実等）」「町（日本一小さい、愛着心等）」が町の自慢であると答える声が多い。</li> </ul>
忠岡町の取組に対する満足度と重要度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 施策項目全体では、「1-⑤青少年の健全育成」・「2-⑤社会保障の充実」・「4-①防災力・減災力の向上」・「4-②生活安全対策の推進」・「5-②交通環境の整備」・「7-①効率的な行財政運営の推進」・「7-②公共施設の適正管理」の項目について、満足度が低く重要度が高い（住民が最も対応を求めている）施策項目となっている。</li> </ul>
町民の幸福度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 回答者自身の幸福度を見ると、平均は 6.7 点であり、幸福度の平均値は、男性（6.5）に比べて女性（6.9）の方がやや高い。また、年齢層別で見ると、50 代は他の年代と比べて、平均 6.5 点と最も低い。</li> </ul>
「これからの忠岡町」について	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人口減少対策及び地域の活性化の取組等、特に町に期待されることは、「経済的に暮らしやすく、子育てから高齢期まで安心でき、生活の利便性と活気がある町を、行政とともにつくること」となっている。経済支援・子育て・住環境整備・商業活性化・行政の信頼が今後の重点課題と言える。</li> </ul>